

インストール・バージョンアップ

TREND-CORE

FCアカウントの「インストール・バージョンアップ」サービスを利用して、最新バージョンのプログラムにバージョンアップする手順を解説します。

1. ライセンスの更新は、お済みですか？

最新版プログラムのダウンロードを行うには、お使いのライセンスの更新が必要です。

まだの場合は、「インストール・バージョンアップ」の「ネット認証ライセンス情報(占有・共有)を更新する」でライセンス情報を更新してください。

ネット認証(LAN)、USBプロテクトをお持ちの方は、「その他プロテクトご利用の方はこちら」をクリックしてライセンス、またはプロテクト情報を更新してください。

FCアカウント

HOME > インストール・バージョンアップ

インストール・バージョンアップ

新規インストールやバージョンアップを行うことができます。
バージョンアップを行う場合は、必ずライセンスの更新を行ってください。

ネット認証ライセンス情報(占有・共有)を更新する

*ライセンスの更新手順はこちら

その他プロテクトご利用の方はこちら

最新版プログラム

- ・ネット認証(占有)
- ・ネット認証(共有)

は、こちらから更新してください。

- ・ネット認証(LAN)
- ・USBタイプのプロテクト

は、こちらから更新してください。

2. プログラムをダウンロードしてインストールします

最新プログラムを、次の方法でダウンロードしてインストールします。

▼ 全体ファイルを保存してインストール

インストールに必要なファイルを全てダウンロードして保存した後、保存したファイルを実行して、プログラムをバージョンアップします。

また保存したファイルをDVDやUSBメモリなどにコピーして、複数のコンピューターへのインストールに使用することができます。

はじめにお読みください

- ▶ はじめにお読みください
- ▶ 全体ファイルを保存してインストール (約1.4GB)
- ▶ TREND-COREアドイン/施工DBのEXCEL編集機能 (65MB)
- ▶ オンライン教材のご案内

バージョンアップの手順については、次ページからをご覧ください。

※動作環境については、巻末(6ページ)をご覧ください。

その他のツール類についても、必要に応じてダウンロードしてご利用ください。

▼ TREND-COREアドイン/施工DBのEXCEL編集機能

「TREND-COREアドイン」は、Excelのアドインツールです。TREND-COREの「施工DB出力」コマンドで出力したMDBファイルの内容を、Excelで確認・編集することができます。現在、「TREND-COREアドイン」をお使いのお客様は、必ずダウンロードしてインストールしてください。

旧バージョンの「TREND-COREアドイン」は、新バージョンのプログラムでは動作しません。

インストール方法

ダウンロードしたフォルダー内の "FCSet-up.exe" を実行してください。

はじめにお読みください

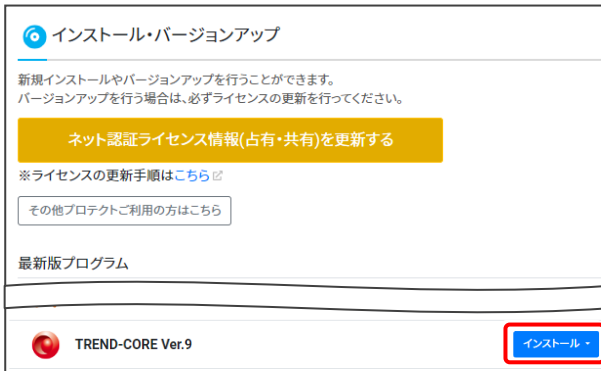
- ▶ はじめにお読みください
- ▶ 全体ファイルを保存してインストール (約1.4GB)
- ▶ TREND-COREアドイン/施工DBのEXCEL編集機能 (65MB)
- ▶ オンライン教材のご案内

1 全体ファイルの保存

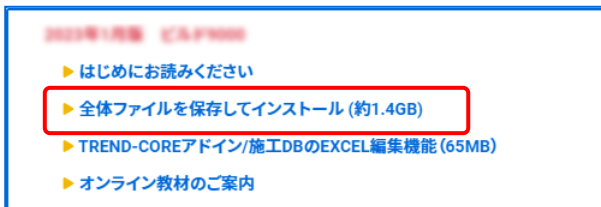
TREND-CORE の全体ファイルをダウンロードして保存します。

※ ご利用の通信環境、時間帯によっては、ダウンロードに時間がかかる場合があります。
そのようなときは、別の時間帯で再度お試しください。ダウンロードを中止しても、また続きから再開されます。

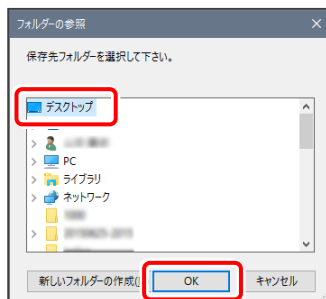
1. 「インストール・バージョンアップ」のページにあるTREND-COREの「インストール」ボタンをクリックします。



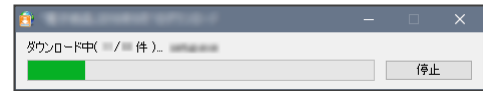
メニューが表示されますので、「全体ファイルを保存してインストール」をクリックします。



2. ダウンロードする全体ファイルの保存先(デスクトップなど)を指定して、[OK]をクリックします。

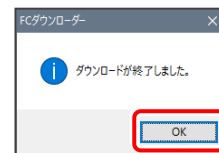


3. ダウンロードが開始されます。



※ ダウンロードを中止するには、上記画面で[停止]をクリックしてダウンロードを一時停止してから、[X]ボタンでダウンロードをキャンセルしてください。

4. ダウンロードが完了したら、[OK]を押して閉じます。

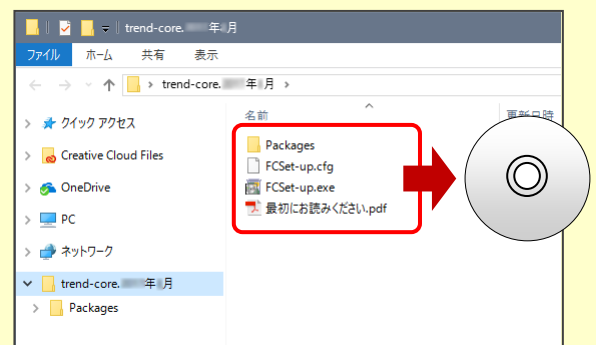


全体ファイルの保存は完了です。

続いて次ページ「プログラムのインストール」に進みます。

他のコンピューターで、ダウンロードした全体ファイルを使用する場合は

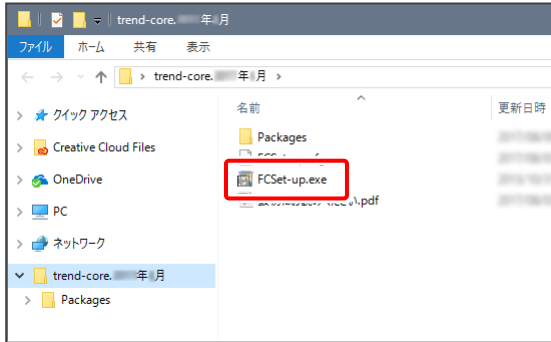
保存した全体ファイルを、エクスプローラーなどでDVDやUSBメモリにコピーして使用してください。



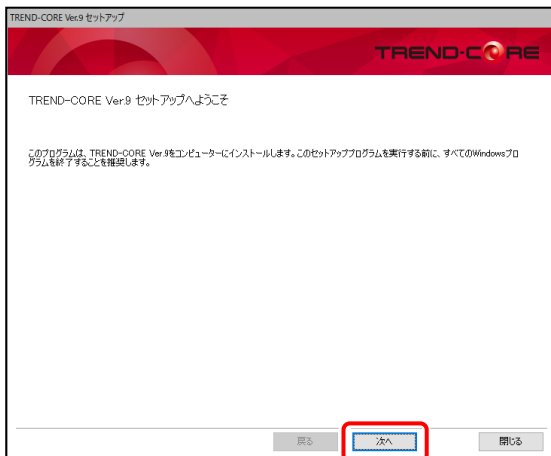
2 プログラムのインストール

保存した全体ファイルを利用して、プログラムをインストールします。

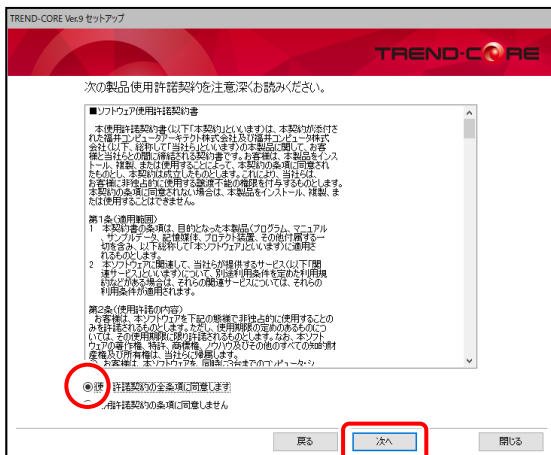
1. ダウンロードした全体ファイル内にある "FCSet-up.exe" を実行します。



2. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



[使用許諾契約の全条項に同意します] を選択します。



コンピューターの時計、使用するプロテクト(「プロテクト」タイプ)、インストール先フォルダーを確認します。必要があれば、変更してください。(インストール先は変更不可)

設定を終えたら、[次へ]を押します。



内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。



(次ページへ続きます)



インストールが終わったら[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。

確認後、[上記内容について了承します。]をチェックして[完了]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、TREND-CORE が正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、「ウイルスセキュリティソフトの誤認識について」ボタンから表示される資料を参考にしてください。

以上でバージョンアップは完了です

TREND-CORE 動作環境

対応OS	Windows 11 バージョン22H2 Windows 10 バージョン22H2 (2022 Update)(64bit)
CPU	推奨Core i7以上(最低Core i5以上):Intel社製 Celeronでは動作しません。
必要メモリ	推奨16GB以上(最低4GB以上)
必要HDD容量	推奨2GB以上(最低1.5GB以上) ※データの大きさにより異なります。
必要解像度	推奨1600×1200(最低1280×1024以上)
VIDEO	DirectX 11.0 対応グラフィックカード ※点群データを扱う場合は、専用GPUメモリを搭載したグラフィックスカード必須
VIDEOメモリ	推奨2GB以上(最低512MB以上) ※点群データを扱う場合は2GB以上のGPU専用メモリ必須(推奨8GB以上)
その他	Microsoft.NET Framework Ver 4.7.1 一部の機能を利用するためには Microsoft Edge WebView2 ランタイムが必要です。

- ※ 上記動作環境は、2023年1月時点のものです。
- ※ Windows 11,10のデスクトップ環境における「タブレットモード:ON」での動作は保証外です。
- ※ 動作確認テストは、動作環境で行っております。
- ※ Windows 11,10以外のアップグレードしたOSでの動作は保証外です。
- ※ 仮想マシン上での動作は保証外です。
- ※ CPUは、Intel社製 Coreに限ります。
- ※ プログラムのインストール先としてNASのご利用はできません。またデータを直接NASに保存することは推奨できません。
- ※ データやLANプロテクト等のルーター越えでの運用はプログラム動作保証外です。
ルーター越えの運用とは、場所の離れた拠点(例えば支店や営業所)から本社に設置しているサーバにあるデータやLANプロテクトのライセンスを取得するケースとなります。
- ※ ヘルプ機能を利用するためにはMicrosoft Edge WebView2 ランタイムが必要です。